

花まる企業

わくわくりポート

中小企業をサポートしている県産業支援プラザが  
オンラインワンを目指す企業を紹介します

<13>

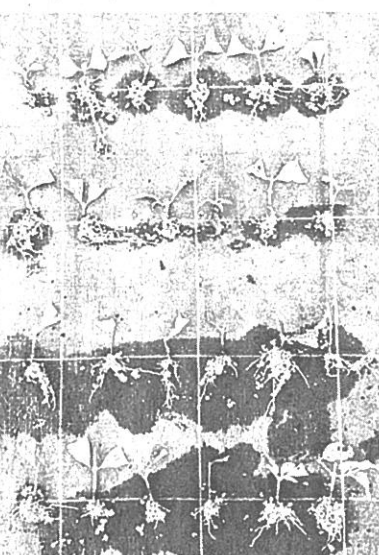
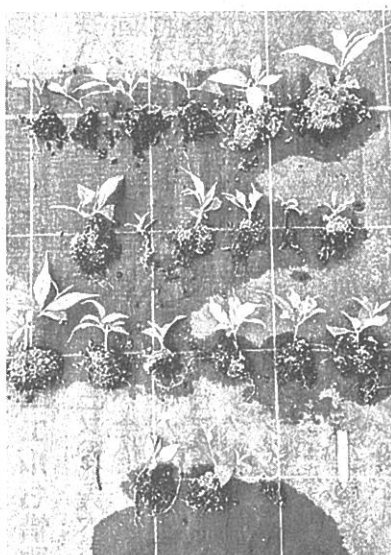
さまざまな生物が自然環境の中に息づく「生態系」の全体像を可視化する。そんな技術を京都大

生態系可視化し食糧生産

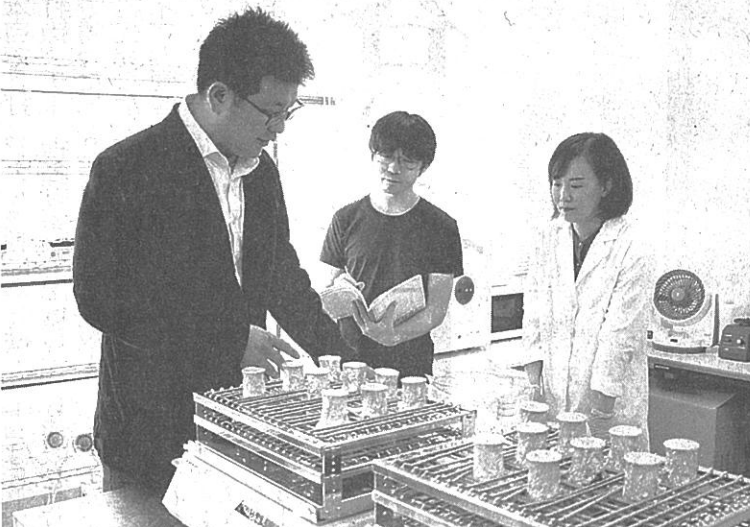
同准教授が2020年に立ち上げたベンチャー「サンリット・シードリングス株式会社」の中央研究所が、立命館大学BKCインキュベータにあります。

換えやゲノム編集技術に頼ることなく生産効率アップにつなげます。このノウハウは高島市で林業にも応用されています。地域の特性を生かした森づくりに必要な苗の生産に貢献できるそうです。

事業の柱の一つは「食糧生産の安定化」。一定の農地で農薬や化学肥料を使う従来型の慣行農法を続けると、次第に土壌の有機物が減り、病原菌が増殖して生産に適さない土地になってしまいます。同社は、農地の生態系を異なる分野の科学を融合して解明し、持続可能な農業ができる生態系に再生(リデザイン)することを提唱しています。



「日本は食糧問題、地域創生への意識をより高める必要があります」と語る代表取締役の石川泰太さん(左)



植物と菌類は約4億年前から共生するパートナー

ムラサキシキブの挿し木苗の生育実験。菌を入れた培土の苗(右)は、入れていない培土の苗(左)と比べると根や葉がよく生育している

<サンリット・シードリングス株式会社 中央研究所>  
草津市野路東1-1-1 立命館大学BKCインキュベータ204。本社は京都市左京区。生態系の診断に基づく農業や林業へのコンサルティング。公式ホームページ <https://www.sunlitseedlings.com/>

生物多様性の価値が見直されている今、同社の技術に大きな期待が寄せられています。  
(県産業支援プラザ情報 企画課・杉江由美子)